

エコけん ニュース

No. 92 2007. 3

連絡先 NPO法人工コけん事務局

FAX 092-944-3012 (火~土 9:00~17:00)

e-mail eco_ecoken@ybb.ne.jp

発行責任者 清水佳香

http://www10.ocn.ne.jp/~ecoken/

2月活動報告



逃げるといわれる2月。一気に春が来たような陽気が続きましたね。
皆様はいかがお過ごしでしたか?

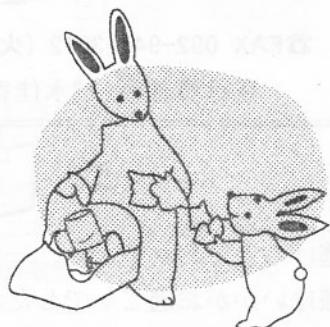
5日には、エコロの森で回収しているペットボトルキャップを若松イオン店に届け、
様子を聞いてきました。エコロの森は、これを大量に集めることを目指しているの
ではなく、活動のきっかけ作りだと思っています。きっかけは多いに越したことはあり
ません。その意味で20日のNHKでの放送はありがたかったです。その後番組を見
て来た、といわれる方がしばらく続きました。

新しく出現した「がらくたガーデン」では春の花が咲き始めました。「私たちのま
ちの清掃工場の歴史」パネルも無事掲示できました。エコロの森は少しずつ変化して
います。皆様、どうぞあそびにおいでください。お待ちしています。

| 日 | 自主事業 | 受託事業 (エコステ活動) |
|----|------------------------------------|--|
| 1 | | MY企画(コードアクセサー) エコ環境教室(自治体) 商品開発活動 |
| 2 | | NHK取材 ボウ会(小布織り) エコ環境教室(福岡市中学校 市民) |
| 4 | 学習発表会参加(連携教室実践校) | |
| 5 | 若松イオン(ペットキャップ収集・搬入) | |
| 6 | 2000個を目標に集め始めたペットキャップ。あっという間に目標達成! | bingo研究会 |
| 7 | ご協力ありがとうございます。 | 商品開発活動 |
| 8 | まだ集めてま～す。 | リメイク教室(小布織り) |
| 9 | | MY企画(コードアクセサー) |
| 13 | | ピギボラ会 ボラ会(エコエコクッキング) |
| 14 | | エコエコクッキング エコ環境教室(福岡市市民グループ) |
| 16 | ニュースレター22号配信 | MY企画(スペシャルデー コードアクセサー) エコ環境教室(福岡市市民グループ) 福津市環境フォーラムへ展示品貸し出し |
| 19 | 定例会議 | 運営会議 教室会議 ボラ育成会議 展示会議 |
| 20 | | エコ講座 ボラ交流会 NHK生中継放送 |
| 21 | | MY企画(スペシャルデー) 館内整備 |
| 22 | 古賀市環境審議会出席 | |
| 24 | | リメイク教室(小布織り) かえっこショップ |
| 27 | エコけんニュース91号発行 | MY企画(スペシャルデー) ボウ会(エコエコクッキング) ほとちやつ45号発行 |
| 28 | | エコクッキング(観察) MY企画(コードアクセサー) 春休み通信発行 |

使い捨て容器で時間を買ってるのかなあ

プラ容器の分別をしていると、ひと月もすれば大きな袋はすぐいっぱいになり、そのかさ高さにうんざりしてしまいます。特に硬いプラは紙容器のようにぺったんこに折りたたむことができず、それぞれの形を主張しているのでは、と恨めしくなるほどです。



日頃、私が食料や日用品を買い物するのは町内のスーパーマーケット。そこでは、消費者が陳列場所から手にとってレジまで持つて行くので、商品は衛生のためにもそれぞれきちんとパックされ、多様な容器包装に守られています。しかし、そのおかげで対面販売の小売店より店員さんが少なくて済むので、その分八百屋さんや魚屋さんなどの小売店よりお安いのだろう、となんとなく思っていました。

ところが両者で「同じ買い物をする」、NHKと京都大学の協力によるある比較実験の結果、なんとスーパーの方が2割程度も高かったそうです。でも買い物時間は1／3。そして容器包装の重さはおよそ4倍。う~ん....。

容器包装は、時間の肩代わりでもあるんですね。確かに、昔ながらの小売店の並ぶ商店街が私の日常のお買い物圏にあったとしても、果たして今の生活の中で、3倍の時間をかけてお買い物する方を選ぶかしら....。



ごみは、暮らしはもとより、社会や経済ともしっかりとつながっているんですよね。どうにもこうにも一足飛びに解決は難しいものです。皆様も一歩進むにはどんな方法があるのだろうと、一緒に考えてくださいませんか。

参考:「新版 ごみから地球を考える」 八太昭道著



今年度のエコけん3大ニュース!

環境フェスタ in 古賀 (6月17日)

エコロの森館内を会場とした初めての環境イベントが古賀市と福岡県温暖化防止活動推進センターの主催で行われました。

当日は晴天にも恵まれ、エコカーの展示や試乗、各種教室、クイズラリーなどに約400名の来場者がおり、大盛況でした。エコけんは事務局として、構成自治体や事業者、市民団体をつなぐ役割を担いました。

また、これをきっかけにエコロの森へ来ていただけた一般の方も多くいました。



▲ちびっこにもできる環境保全活動
(講話)

素敵なママ活動～しんぐう・子育てNAVI～

エコロの森では、主にママがボランティア活動を担っていますが、今年新しく団体登録された「しんぐう子育て NAVI」さんもまさに子育て真っ最中!! 託児を上手に駆使しながらお互いに助け合って活動されています。

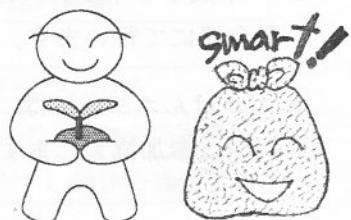


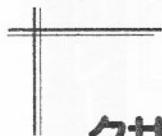
2月11日に大野城市で行われたイベントでは、エコロ名物「カラス工作」が実施されました。私たちの支援が、活動の活性化につながることはうれしい限りです。

はじめての福津市小学校出前教室

エコけんは2001年より古賀市をはじめ北九州や大野城などの小中学校に出前教室を実施してきました。今年度は、なんと、初めて福津市の小学校への出前が実現しました。福間小学校と福間南小学校の4年生です。エコロの森の工場見学の機会がなかった1校は、ごみ減量の基礎講座をしました。もう1校は工場見学を挟んで前後2回の出前で、“ごみと私”についてより掘り下げた授業にできました。

これまで、小学5・6年生や中学1年生対象の出前講座ばかりでしたので、はじめての福津市への出前は新しい形に取り組むことができ、大きな収穫でした。





エコステだより

クサボン作品展

3月の1ヶ月間、人形作家クサボンさんの作品展を開催しました。



コーヒー豆の保存袋（ドンゴロス）を使ったさまざまな形のドンゴロス人形をはじめとして、コルクを使った動物や人形、牛乳パックの家などで、展示室がクザボンワールドに変身しました。

訪れた人々は、身近にある素材を使って、素敵な作品ができているのに驚いたり感心したりと、非日常の空間を楽しんでおられるようでした。子どもたちもドンゴロスのラクダに座ったり、段ボールでできた動物の頭をかぶったりして遊んでいました。中旬からは再生家具・自転車の入札と春休み教室でたくさんの人々にみてもらうことができました。



はじめての作家作品展でしたが、これからも続けていたらといいな、と思っています。



まなび つどい つばく
エコロの森 再生・展示棟
ecolo no mori station

◆◆◆◆ 古賀清掃工場 再生・展示棟 ◆◆◆◆

TEL 811-3121 古賀市筵内1970-1 ☎ 092-942-1530 内線 (701)

FAX 092-942-1532 E-mail ecosta@ecolo-no-mori.com

～事務局より～



- ◆ 「平成19年度エコけん総会」を5月14日（月）13：30～ 舞の里3丁目集会場にて行います。
- ◆ エコけんニュースは、古賀市市制施行10周年記念事業 プロジェクト「わ」に参加協力します。

10